

(様式1)

## 自 己 評 価 表

愛媛県立東予高等学校

学校番号(12)

教育方針	(1) 人格の調和のとれた、心豊かな人間を育成する。 (2) 創造性を身に付けた、主体的に行動できる人間を育成する。 (3) 時代の変化に対応し、国家社会の有益な形成者となる人間を育成する。	重点目標	「思いやりの心」を育み、「たくましく生きる力」を培う教育の推進 一 生徒と共に創造していく活気に満ちた学校づくりを目指して 二
------	---	------	---

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
学習指導	基本的生活習慣の充実	1日の欠席者5名以内の日100%を目指します。 A:100%以上 B:90%以上 C:80%以上 D:75%以上 E:74%以下	C	全体で85.3%であった。9月10月の欠席者が多かった。また、休みの続く生徒が固定されており、目標値を達成できなかった。	すべての学校の活動において、欠席が続く生徒への積極的な声掛けをする。情報を共有しながら登校しやすい環境を全教職員でつくる。
		1か年皆勤の生徒60%以上を目指します。 A:60%以上 B:50%以上 C:45%以上 D:40%以上 E:39%以下	B	全体で51.8%で目標は達成できなかった。2年生は63%であったが、1年生が51.9%と低く、3年生が44.1%とかなり低かった。	自分の進路実現に向けて、皆勤を目標に頑張っている生徒も多いが、全校生徒に意識づけをして皆勤率を上げていきたい。
	授業の充実	授業の内容がわかりやすく楽しいと感じる生徒の評価(100点満点換算)80点以上を目指します。 A:80点以上 B:70点以上 C:60点以上 D:50点以上 E:49点以下	A	全校で83.5点(昨年度全校で85.2点)であった。目標は達成できているが、1・2年生の評価が昨年度より低いので、各教科で個別最適な学びを研究・実践していく必要がある。	3年生は88.3点であったが、1・2年生が低くなっている。さらなるICTの積極的な活用や、生徒の活動が増えるような授業展開などの工夫が必要である。3年間での継続的な学習に繋げたい。
生徒指導	態度教育の充実	大きな声で、1日10回挨拶のできる生徒を育てます。 A:10回以上 B:8回以上 C:6回以上 D:4回以上 E:3回以下	B	登校時の正門での挨拶や授業開始時の挨拶など積極的に大きな声でほとんどの生徒が挨拶できていた。来校者に対しての挨拶が消極的であった。	休憩時間や外来者に対する挨拶も積極的に自覚をもってできるよう指導していきたい。
		身だしなみ指導の合格率年間90%以上を目指します。 A:90%以上 B:80%以上 C:70%以上 D:60%以上 E:59%以下	B	年間の合格率は83%であった。大半の生徒は概ね良好であったが、決まった生徒が何度も再指導を必要としたためである。	頭髪の基準について、生徒とよく話し合い、生徒自らが納得のいく基準を設定し指導していきたい。
進路指導	就職・進学指導の充実	生徒ひとり一人に応じた進路指導を行い、進路決定率100%を目指します。 A:100%(全員決定) B:未決定1人 C:未決定2人 D:未決定3~5人 E:未決定6人以上	A	年内に達成することはできなかったが、1月で進路決定100%となった。今年度も新型コロナの影響はほとんどなく求人数が多かった。	大手企業関連への就職が多く、地元中小企業に生徒を出せない状況が続いている。生徒減の中、この傾向はさらに大きくなると思われる。魅力ある企業を知る機会を増やしたい。

領域	評価項目	具体的目標	評価	目標の達成状況	次年度の改善方策
特活指導	部活動・学校行事の充実	部活動加入率(全校)95%以上を目指します。 A:95%以上 B:90%以上 C:85%以上 D:80%以上 E:79%以下	A	部活動加入率96%で数字的には目標を達成できているが、入部しているが活動をほとんどしていない生徒もいる。	部活動加入率を維持しつつ、積極的に部活動に参加できるように促したい。
		県総体出場50名以上を目指します。 A:50人以上 B:40人以上 C:30人以上 D:20人以上 E:19人以下	A	昨年在6部49人だったのに対し、本年度は5部50人の県総体参加であった。	部活動の積極的な活動を行うため、1年生の全員入部の期間を1年から1学期間のみにし、意欲的な活動を促進する。
		東高祭&バラ観賞会での来校者800名以上を目指します。 A:700人以上 B:600人以上 C:500人以上 D:300人以上 E:299人以下	—	新型コロナウイルス感染症予防対策のため、東高祭(11月)&バラ観賞会(5月)に分けて実施した。基本校内のみで実施した。	5月実施に向けて、内容や入場者等について前向きに検討している。
その他	奉仕の精神の醸成	年3回以上の地域交流清掃活動や、環境整備活動を行い、奉仕の精神を養います。 合計で、A:6回以上 B:5回 C:4回 D:3回 E:2回以下	B	地域の清掃2回、校内やその周辺での環境整備3回の計5回の活動を行った。これらの活動を通じて生徒に奉仕の精神が芽生えつつある。	落ち葉の散乱によって御近所に迷惑をおかけしたことがあり、来年度清掃の回数を増やすか、時期を再考する必要がある。
	資格・検定取得指導の充実	ジュニアマイスター顕彰認定者30名以上を目指します。 A:30名以上 B:25名以上 C:20名以上 D:15名以上 E:14名以下	A	今年度3年生は入学時より、新型コロナウイルス感染症の影響により、資格取得の機会、受験に向けた学習の時間確保が困難な状況の中、認定者数32名と昨年と遜色ない成果を上げている。	現状維持に満足することなく資格取得の奨励を積極的に行いながら、他の学習活動、部活動等への影響を踏まえて、指導内容の精選や工夫を行なう。
業務改善	適切な勤務時間	出退勤記録表の提出を確実にさせることにより、勤務時間を守る意識の向上を図るとともに、年休平均取得日数11日以上を目指します。 A:13日以上 B:12日以上 C:11日以上 D:10日以上 E:9日以下	C	出退勤記録表は関係者全員が提出できている。会議の際の定時終了もほぼ守られている。年休平均取得日数は11日5時間52分となった。	引き続き、働き方改革の意識を醸成させ、テレワークを活用するなど、各教職員のキャリアステージに合った働き方ができるよう提案したい。
	職場環境の改善	職場環境に関する意見を集め、働きやすい職場になるよう環境整備に努めます。	A	職場環境改善に向けて、備品の購入や保健管理講座「ストレスとの上手な付き合い方」の開催等を通して、メンタルヘルスケアの向上を図ることができた。	職場環境改善につながる備品・機器の購入・修復等について、教職員の声を吸上げ、より働きやすい環境の提供に努める。

※ 評価は5段階（A：十分な成果があった B：かなりの成果があった C：一応の成果があった D：あまり成果がなかった E：成果がなかった）とする。